

2021年3月

「誰かのために募金～新型コロナウイルスの影響により
生活困難な市民を支える活動を応援～」

「ゴンタで夏休み・流星台プレイパーク整備活動」

活動報告書

つくば遊ぼう広場の会
代表 五十嵐亨

目次：

概要

活動名

活動実施期間

活動場所

活動報告1：ゴンタで夏休み

活動報告2：流星台プレイパーク整備活動

会計報告

補足説明資料：

資料1：ゴンタで夏休み：参加者数

資料2：ゴンタで夏休み：スタッフ報告

資料3：ゴンタで夏休み：参加者の感想から

資料4：HP に示した、ゴンタで夏休み参加者へのお願い

資料5：写真集

資料6：連携協力団体等

概要

つくば遊ぼう広場の会は、令和2年7月から令和3年3月にかけて、認定 NPO 法人「茨城 NPO センター・コモンズ」による助成金「誰かのために募金～新型コロナウイルスの影響により生活困難な市民を支える活動を応援～」の助成を受け、つくば市が整備し維持管理している流星台プレイパークにおいて、「ゴンタで夏休み・流星台プレイパーク整備活動」を実施した。

「ゴンタで夏休み」としては、令和2年7月末から8月にかけて、計6回のプレイパーク活動を開催した。このうちの7月の2回は、自主保育サークル「コロボックル」との共催であった。参加者はのべ 518 人であった。ここで、いずれの回においても、流星台プレイパークをともに利用する子育てサークル群と連携を取り、各回約8名という十分な数と質の、「守番」（もりばん）と呼ぶプレイリーダー兼スタッフを用意した。そして、新型コロナウイルス感染防止をはじめ、無用な危険を回避する形で行い、結果的に、大きなけがや熱中症などを出さず実施することができた。

「流星台プレイパーク整備活動」としては、令和2年7月から令和3年3月まで、準継続的かつ間欠的に計10回の活動を実施した。「草刈り」は、丈の長い草の生えた場所を減らすことにより、参加者が遊ぶ面積を広げ、遊びをダイナミックにするとともに、

「密」を避けることにも寄与するが、「ゴンタで夏休み」の準備期間を含めて計6回実施した。他の利用団体とも必要なものについては協議・相談を行ったうえで、参加者の物置や各種作業スペースとしても活用でき、作業での密を避けることにもつながるおむつ交換台を優先的に整備した。また、冬季の活動では火が必要になるので、管理するつくば市に働きかけ、かまどの材料を用意してもらい、密を避けられる広いかまどを整備した。

本活動は、当初申請時点では令和2年10月頃までとしていた。これを、採択時に運営委員会からの要望事項である「行政や他団体との連携もさらに深め」るなかで、令和3年3月までに延長した。必ずしも本助成活動だけの成果ではないが、つくば市が公認し、流星台プレイパークの継続的利用団体で構成する「流星台プレイパーク連絡協議会」（略称：星れん）を立ち上げ、つくば遊ぼう広場の会のみならず、星れんの枠組みで、今後の流星台プレイパークの活動を推進できることになったことは、報告させていただきたい。

もう一点要望されていた「取り組んでいるようなコロナ禍で外で遊べるための工夫を発信」については、現時点で外から見えるものとしては、WWW における、参加者への注意にとどまるものの、準備を進めているところである。今後に期待していただきたい。

まとめると、新型コロナウイルスにより、子どもの成長、親の居場所・相談場所等として重要なプレイパーク活動も大きな影響を受けたものの、当助成金の趣旨を踏まえ、行政や他の団体とも連携を取りつつ、関係者が知恵を絞り相談することによって、豊かな遊び環境を維持・確保することができたと考えている。

1. 活動名： ゴンタで夏休み・流星台プレイパーク整備活動

2. 活動実施期間： 2020年7月20日（月）～2021年3月20日（土）

ゴンタで夏休み： 7/29, 7/31, 8/2, 8/3, 8/21, 8/22

流星台プレイパーク整備活動：

7/15, 29, 31, 8/27, 9/14, 28, 11/21, 12/19, 1/16, 3/20

3. 活動場所： 流星台プレイパーク（つくば市流星台59番地）

4. 活動報告1： ゴンタで夏休み

[概要]

ゴンタで夏休みは7月末の2日間および8月の4日間の計6日間実施した。時間はすべて9時30分から13時30分である。参加者は、スタッフを含めてのべ518人であった（資料1参照）。天候にも恵まれ、おおむね想定通りの規模で開催することができた。

[準備]

この期間はいわゆる第一波と第二波の間であり、茨城県内の感染者数はそれほど多くなく、緊急事態宣言等が出る可能性も低いと見込まれていた。ところがこの期間の直前から茨城県内の新規感染者数が増えはじめ、7月31日には Stage 3 となり、「夜の街 PCR ローラー作戦」が実施される状況になった。とはいえ、クラスターの発生は「夜の街」が中心であることなどから、つくば市や各団体とも相談のうえ、感染拡大防止に注意し、予定通り実施することとした。

広報は、今回は最小限にとどめた。例年、チラシの配布などを行うことで晴れの日には100名程度の参加者があるが、100名を超えると密を避けるのが難しくなるかもしれないと心配したためである。WWWでは日程などを書いたすぐ下に、参加者への感染拡大防止に係るお願い（資料4参照）を併記した。

企画としては、例年は毎日水分補給を兼ねてかき氷を実施するが、今回は感染防止対策のため飲食は避けた方がいいと考え、なしとした。また、講師を招いての工作教室などのイベントも実施しているが、これも密を作るものになることから、やめることにした。とはいえ、熱中症対策の意味もあり、ウオータースライダーの実施、ミニプールの用意などは例年通り行うこととした。

スタッフはどの日も約8名用意し、受付、ウオータースライダーに担当者を常駐させるほか、残り約6名には小さい子どもには危険になりうる遊具を含め、全体を見渡すように配置することとした。

感染症拡大防止のため、体温計、消毒液等を追加購入した。体温計は短時間で精度よく計測できるものを選んだ。受付では、万一感染者などが出た場合に連絡できるよう、参加者の名前・連絡先を確実に書いてもらうこと、密にならないよう注意を呼びかけること、

大人についてマスクを徹底すること、手洗いうがいの励行を呼びかけること、とした。同時参加者が 80 ～100 名近くになると密になるおそれがあると考え、それを越えた後は常連の参加者を中心に入れ替えを促すことを決めた。また、参加状況によっては、翌日以降に午前午後の2部入れ替え制を採用することも検討することとした。

[活動の実施]

7/29, 31 の2日間は、自主保育サークル「コロボックル」との共催の形で行い、スタッフには主にコロボックルの会員（親）を中心とするメンバが入った。

天気には恵まれたにもかかわらず参加者は 40 名程度であった。参加者はいつもの、第一、三土曜に実施している「ゴンタで遊ぼう」と同じような形で遊んでいた。ウォータースライダーの試行を行い、調整をしたほか、受付の方法について検討を進めた。

参加者数が少ないことについては、広報不足や、新型コロナ感染拡大防止のためなのか、つくば市の小学校がまだ休みに入っていないことによるのか原因がわからず、やや心配した。

8/2, 3 は一転、100 名を超える参加者があった。やはり小学校が休みであることは、参加者数に大きい影響を与えると言えるようだ。午前中早々に 80 ないし 100 名近くに達し、密を避けることが急遽問題になり、スタッフは若干混乱したが、現場の工夫（早弁の勧め）などで回避した（資料2参照）。ウォータースライダーをはじめ、涼を求めつつ、皆楽しくプレイパークで遊んだ。

また 8/21, 22 は、8 月前半同様、およそ 100 人の参加者があったが（22 日は土曜で、例年の傾向からも、家族と別の場所で時間を取るためか、平日よりも参加者が少ないことがわかっている。）、前半の経験を踏まえ、密を避けるための工夫をうまく実施することができた印象がある。

5. 活動報告2： 流星台プレイパーク整備活動

以下に述べるように、つくば市の工事も含め、10日間以上実施した。

流星台プレイパーク整備活動としては、大きく分けて、（1）参加者が立ち入ることができるスペースを広げることにより密を避けることにもつながる「草刈り」、（2）プレイパーク活動に必要な設備・施設の整備・工事、（3）遊びを広げ、参加者にとって便利な遊具・簡易設備の整備、（4）上の2つのようなハード面ではなく、ソフト面の整備、にわけることができる。

（1）の草刈りは、記録に残る限りで 7/29, 31, 8/27, 9/14, 28, 12/19 の6回実施した。丈の高い草が生えていると、やはりその部分には子供も大人も足を踏み入れない。草刈りによってそうした場所を減らすことにより、参加者が遊ぶことのできる面積を広げ、遊びをダイナミックにするとともに、「密」を避けることができる。

（2）は、流星台プレイパークについては、つくば市が管理しており、つくば遊ぼう広場の会を含む利用団体は、利用期間が終わる際に設備を撤去する必要がある（注：利用継

続する場合は必ずしも撤去する必要はない) ことから、固定される設備はつくば市が設置することになる。たとえば水道関係及びかまどについてはこれにあたるので、つくば市に設置などを働きかけ、水道分岐工事・流し台はゴンタで夏休みの前の7月8日に設置していただいた。また冬季の活動で重要になるかまどについては、必要資材をつくば市に10月5日に納品していただき、つくば市と設置場所などを協議したうえで、11月21日につくば遊ぼう広場の会のメンバが中心となり、密を生みにくい、比較的広いかまどを製作した。かまどの製作にあたっては、これを本職とする常連利用者の協力も得つつ、匠の技を活かして製作することができた。

(3)の遊具、簡易設備の作成については、申請時は、遊具のほか、雨天時のタープ、いす・机、作業台(おむつ交換台)を挙げていた。その後、他団体との相談を行い、いす・机は古いとはいえ既存のものもあるので、むしろ密を避けるため作業台を増やした方がいいという意見が多かったこともあり、作業台の作成を優先的に実施した(7/31, 11/21, 1/16, 3/20)。

ここで、雨天時のタープについても、導入はするが非優先事項として、安価で済むブルーシート程度ですますこととした。プレイパークでは、本来、雨でも子どもが元気に遊ぶことは、推奨まではしないまでも、当然許容するものである。しかし、特に冬季は参加者が風邪をひくことにつながりかねず、新型コロナ感染と区別がつきにくい現状では、風邪をひくのもままならないことが理由となった。

(4)については、特に予算が必要なものではなく、また必ずしも本助成金のみで行ったわけでもない。しかし、採択時にいただいたご要望を考慮させていただき、つくば市や他団体との連携を重視した結果、かまどの設置、水道の分岐等についてつくば市の協力が得られた。また、「流星台プレイパーク連絡協議会」(略称:星れん)という、利用団体の主力メンバが加わり、かつ、つくば市が公認する連絡会が設置されるに至ることができた。今後はこの枠組みを活かし、つくば市ならびに関連団体と密な連携をとって、流星台プレイパークでの活動を実施していきたい。

6. 会計報告

収入

勘定科目	内容	金額	備考
受取助成金等	頑張ろうね基金	100000	
参加費収入	参加費	24200	50円×484人※
自主財源	つくば遊ぼう広場の会運営経費	213	会員会費等
合計		124413	

※参加費について、スタッフの一部については免除した。

支出

勘定科目	内容	金額	助成金充当額	備考
給料手当	守番手当	47000	47000	約8人×6日×1000円
消耗品費	木材等	28408	13725	おむつ交換台、タープ等材料
消耗品費	草刈り機	32529	32529	
消耗品費	草刈り鎌	1495	1495	4本
消耗品費	電子体温計	3981	3981	1本
消耗品費	消毒液	1270	1270	
消耗品費	草刈りガソリン代	2450	0	
保険料	参加費保険料	7280	7280	7月：28円×30人×2日 8月：28円×100人×2回※
合計		124413	100000	

※保険料で、8月は、1回が連続した2日分にあたる。

資料1：ゴンタで夏休み：参加者数

ゴンタで夏休み 参加者数

日付	総数	大人	小人
7月29日	35	15	20
7月31日	41	19	33
8月2日	114	56	58
8月3日	103	38	65
8月21日	127	50	77
8月22日	98	43	55
合計	518	221	297

資料2：ゴンタで夏休み：スタッフ報告

■7/29 スタッフ報告

29日のゴンタは涼しくて快適でしたが、アナウンスが足りないからか、まだ夏休みに入っていない人も多いからなのか、外部からの参加者は少なく、全体で35人でした。コロボックルの関係者が多く、一般の参加者が外からは5組。たまたま通りかかった人、という感じでした。

定例の土曜の開催と同様に、砂場やブランコでのんびり遊んだほか、今後に備えて草刈りを進めたり、受付の整備を行った。

そして、ウォータースライダーを試し滑り！ 涼しくてやらないかなと思いましたが、子ども達には大ウケ。練習の意味も込めて、また31日にやりたいと思います。

■7/31 スタッフ報告

朝方雨がぱらつき、開催も迷いましたが、一応開けました。参加者は大人19人、子ども22人の合計41人でした。

午前中は砂遊び、泥遊び。午後はウォータースライダーで盛り上がりました。みなでトイレに出かけては、カブトムシを大量ゲット！！子ども4人目の母さんも、「今までは育児に追われ過ぎて見向きもしてなかったから初めて触った」と大喜びしていました。

参加者はコロボックルや流星台プレイパークの利用団体（子育てサークル）の関係者がほとんどで、それ以外は2組程度でした。参加者が増えないのは学校がまだ休みに入らないからでしょうか。

■8/2 スタッフ報告

今日は朝から日差しが強く、風は涼しかったものの、暑い暑い1日になりました。参加者は大人56人(父6組)、子ども58人の計114人でした。9時半の時点ですでに遊びに来ていた人もいて、みんな出足が早かったです。FBやHPを見てきた人、友達の紹介など、いろいろなところで調べてぞくぞくとやってきました。

11時にはすでに上限と考えていた80人は越えてしまい、スタッフや来た人にも相談しつつ、それほど時間もたっていないので帰るようは促せず、悩みました。結局11時半くらいに100人を越え、「ちょっと多くなってきました。早めのお昼どうですか？よかったら近くには公園や木陰もありますよ。」などとアナウンスして回りました。少しずつ早めに食べてくれる人達も増え始めると、密もそこまで気にならなくなり、お昼で帰る人達もいて、午後には60人くらいに減っていました。早弁作戦は有効そうです。

ウォータースライダーは、途中何度か整備をはさんで継続的に実施しました。木工コーナーは密になりやすいので、個別にやれる場所をイスで作り、少しでも広がって遊べるように工夫しました。

水の入ったたらいコーナーも時々お客さんがきて、なぜかタライよりも足洗い用のバケツに浸かりたがる子がいて、そこはそこでいい遊びスペースでした。

■8/3 スタッフ報告

今日は大人38人(父1組)、子ども65人、合計103人でした。昨日のように朝からぞくぞくという感じではありませんでしたが、ずっと少しずつ来てくれました。友達を誘いあって来たという人達が多かったようです。

受付の時点で、早弁の薦めと分散の薦めをお話しましたが、今日は木工が人気で結構密になりました。小さい机も出しましたが、子どもにそれぞれ親ががっちり付くと混み合った感じになります。ここにはもっと机が必要そうです。

ウォータースライダーはスタッフに加え常連の参加者の方が子どもを遊ばせながらずっと番をしてくれて助かりました。

タライはやっぱり一緒に遊んでいる子がいれば楽しいのですが、ただ置いてあるだけでは広がりません。でも、水浴びにはいいですね。

また、スタッフも慣れてきて、子どもに対してだけではなく同伴する親とも子育て等について話をする事ができたようです。子育て支援・親支援の活動ができてよかったです。コロナ禍での子育ての悩みを軽減できるようつとめることができました。

■8/21 スタッフ報告

参加者は大人50人、子ども77人の合計127人(父2組)でした。暑かったけれど、参加者が増えて心配になりました。それでも今まで同様、早めにお弁当食べるとか、あんまりぎゅうぎゅうにならないように工夫してやろう、木陰にレジャーシートで家族ごとに散らばってとってね」と声掛けを強化するなど、受付でも声かけての開催でした。暑さのせいか、お昼までいないで帰る人も多かったので、午後はかなりゆったりしました

今日は木工コーナーが人気で、前回の反省を活かして大きい机と大きい長イスも追加して場所を広げました。簡易のタープも木工と砂場コーナーに張り、とりあえずの日差しも避けられました。

■8/22 スタッフ報告

参加者は大人43人、子ども55人の合計98人(父16組)でした。朝から市の手違い(サプライズ花火の関係)があって入り口のところで入場制限され、スタートが30分も遅れました。それでも常連さん等の参加者が多く、にぎやかな1日になりました。

8月前半同様、友達を誘って来てくれる人が多く、離れて食べてもらうのはなかなか難しかったです。ウォータースライダーは相変わらず大盛況。暑い日でしたが、楽しく涼めたようです。

資料3：ゴンタで夏休み：参加者の声より

「自然の中で遊べてよかったです。木のブランコが楽しかったです☆ コロナでどこへも遊びに行けなかったのでよかったです。子供もストレスがたまっている」（女兒）

「ウォータースライダーは自分たちではなかなかできない遊びなので、子どももものすごく楽しそうでした」

「家や幼稚園ではなかなかできないノコギリやトンカチを使うことができ、周りの子どもたちのやっていることを自分もまねしてみたりと、とてもいい刺激をもらっています。大人の方も子どもに声をかけて一緒に遊んでくれ、大人とのふれあいもできてとてもいいと思います」

「木陰を作って頂いているので、快適に過ごせます」

「制限や、いろいろな考えを持つ人の目を気にして子どもを遊ばせるのがつらい時もあるが、ここにくる保護者や見守ってくれる大人はとても寛容でありがたい。」

「できるだけ同じように生活してきたつもりでいたが、自分ではわかっていなかったストレスが、あったと感じる瞬間があった。子どもも同じようなストレスがあるのかなと思い、このようなプレイパークで自由に遊べる環境があることをありがたく感じています」

「ここにくれば誰かいました。話しても話さなくてもいい距離感と空気感がここにはある気がします。ここで同じように子育てしている人達に出会えました。子ども達を見合いながらの何気ない世間話にどれだけホッとしたか。困っていた子どもの話に共感してもらえてどれだけ楽になったか。本やネットからでは学べない経験や出会いがここにはあると感じます」

プレイパークがコロナ禍の子どもがストレスなくすごせる遊び場として、また大人の居場所として、役割を果たせていると感じました。（スタッフ）

資料4：HP に示した、ゴンタで夏休み参加者へのお願い

いくつかお願いがあります。まず、ご家族のみなさんの健康状態の確認をしっかりと
おいください。 その他注意事項は下の方にありますのでお読みください。

密になりすぎないように、しかし子どもたちの遊びになるべく制限をかけない形で遊べる
場所にするために、 見込みより多くの方がきてくださった場合は、みなさんと相談しな
がら譲り合って遊べるようにしたいと思っています。二部制にしたり、人数制限を設けさ
せていただくようなこともあるかもしれません。この点はあらかじめご了解ください。

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ観点から、 以下をご理解いただいた上で参加し
ていただきたく思います。 よろしくお願いします。 そこで：

1. ご家庭での健康管理・観察をお願いします。 これは、ゴンタの開催の前提でもあり
ます。ゴンタに来る前に、自宅で健康状態を確認してください。ご家族に体調不良の
方がおられる場合は、参加をお控えください。治ってから来てね。
2. 受付の名簿に連絡先を必ず記入してください。
3. お弁当などの持ち込みは可です。食べるときはよく手洗いをした上で、家族ごとに十
分な距離をとって食べてください。
4. 大人はマスク等の着用をお願いします。子どものマスクは、熱中症のリスクのほうが
心配なので、任意とします。
5. ゴンタでは、子ども同士の接触はさけられません。特にご家族に重篤化リスクの高い
方（ご高齢者や基礎疾患のある方）がいらっしゃる場合、 この点について十分納得
の上、ご参加ください。
6. 参加後にもし発症した場合は、つくば遊ぼう広場の会まで速やかに連絡ください。
7. 「密閉」はないと思いますが「密集」「密接」になっていると思われる場合は声をか
けますので、ご協力ください。

状況の変化に合わせて、また対策を変更することがあると思います。その都度みんな
で協力し合って、乗り切っていきましょう。

またきっと、これまでのようにのんびりと構えて遊び場で過ごせる日が来ることを信じ
て！！

資料5：写真集

ゴンタで夏休み



タープの下で



遊びの光景



ウォーターライダー



ロープ



タライ

流星台プレイパーク整備活動



草刈り作業



草刈り機（新規購入）



かまど（新規作成）



赤ちゃん台（新規作成）



密でないテーブル等の用意

資料6：連携協力団体等

■行政

つくば市：

流星台プレイパークの管理。設備の整備等。

利用申請団体に対し、星れんの紹介。

■流星台プレイパーク利用団体

	ゴンタで夏休み	流星台プレイパーク整備	星れん
自主保育サークル 「コロボックル」	共催（7/29, 31） 守番派遣	作業協力	参加
常総っこ応援団	守番派遣	作業協力	参加
子育てサークル 「はらっぱ」	守番派遣	作業協力	参加